

小児外科 研修で経験が望ましい項目 (minimum requirement)

	回診、カンファレンス	日付	回数
A	病棟回診で適切にプレゼンテーションを行う		
A	カンファレンスで適切に術前術後のプレゼンテーションを行う		
B	リサーチカンファレンスで適切に欧文論文を要約し発表する		
C	他科との合同カンファレンスで適切にプレゼンテーションを行う		
	手術		
A	術前、術後の説明に立ち会う		
A	術前、術後の指示を適切に行う		
A	中心静脈カテーテル挿入の介助を行う		
C	中心静脈カテーテル挿入を行う		
B	中心静脈カテーテル抜去を行う		
A	手術野の消毒を行う		
A	手術中の結紮と縫合を行う		
A	腹腔鏡手術で腹腔鏡を担当する		
B	臍ヘルニア根治術、精索・陰嚢水腫根治術、精巣固定術の第一助手を行う		
C	外単径ヘルニア根治術、粘膜外幽門筋切開術、虫垂切除術（開腹または鏡視下）の術者を行い、手術記録を作成する		
A	病理検体の処理を手伝う		
	病棟		
	診療録を適切に記載する		
	病棟指示、検査指示を行う		
	指導医のもとで新規患者の病棟指示、検査予約、処方・注射入力、手術入力を行う		
A	採血を行う（新生児は介助）		
A	静脈路確保と刺入部の固定を行う		
A	年齢と体重にあわせた輸液プランを組み立てる		
A	導尿を行う		
A	胃管を挿入し、位置を確認する		

A	ED tube の挿入やイレウス管の挿入の介助を行う		
A	創部の包交を行う		
A	抜糸や抜鉤を行う		
A	カテーテルの抜去を行う		
A	上下部消化管造影の介助を行い、評価する		
B	高圧浣腸、腸洗浄、倒立位撮影の介助を行う		
B	退院前診察を行い、退院説明を上級医と行う		
B	入院総括を期日内に記載する		
	<b>外来</b>		
A	病歴を聴取する		
A	新患の診察に立ち会う		
B	新患の診療録を適切に記載する		
C	救急患者の診察と処置を行い診療録に記載する		
B	入院前診察を適切に行う		
A	採血や超音波検査を行う		
A	胃瘻交換の介助を行う		

- A 4週間で経験することが望ましい  
B 8週間で経験することが望ましい  
C 12週間で経験することが望ましい